内谷市長の

ゆるやかコラム

「笑顔があふれた秋の長井 文化、スポーツを楽しめるまち」



11月に入り、西山もめっきり色づき秋の深まりを感じる季節となりました。今年も多くの催しが開催され、長井のまちは市民の皆様の笑顔で溢れました。

9月上旬には、オペラ「ゼッキンゲンのトランペット吹き」が、日本初演20周年特別公演として長井で上演されました。世界的に著名な演出家や国内外で活躍される指揮者、国内最高峰のオペラ歌手陣、そして山形交響楽団の演奏により、全国から高い評価をいただきました。公募による合唱団や地元スタッフの皆様にもご参加いただき、その歌声と演技に会場は終始大きな拍手に包まれました。

10月には第64回長井芸術祭が開催され、今年も各団体の多彩な催しや展示により「文化芸術のまち長井」にふさわしい感動と新たな発見、日々の暮らしに豊かさと潤いを届けるひとときとなりました。

スポーツイベントも数多く実施されました。各地区のコミュニティセンター主催による運動会は、各コミセンの職員や実行委員の方々が趣向を凝らし、世代を超え一体感が生まれる、まさに地域ならではの大運動会を開催していただいています。

10月中旬には、県内唯一のフルマラソン種目のある長井マラソンが開催され、ハーフマラソンや家族で参加できるファミリーランも含め過去最多となる1400名が出場する記念すべき大会となりました。40年前に大会を立ち上げたトライアスロン愛好者団体有志の皆さんは、感無量と仲間同士で称え合っていらっしゃいました。タンザニアから往年の名ランナーであるジュマ・イカンガー氏率いる8名の選手団の皆さまの参加もあり、国境を越えた交流がみられ嬉しく思いました。

まちなかでは長井ミンナガフェス、市民有志が立ち上がり毎年開催されている長井1000人いも煮会が同時開催され、若者から子育て世代、ご年配の方まで笑顔あふれる大イベントとなりました。いも煮の鍋の前には数百人を超える長蛇の列ができ「旨Ｓｉｏいも煮」に舌鼓を打っていました。

県内外からのお客様からは「長井はいつ来てもイベントをやっている元気なまちですね」とのお声も届いています。

財政再建に成功して12年。長井のまちは市民の皆様のおかげで、ハード事業もソフト事業も充実し、元気なまちへと生まれかわりました。これからも国の補助や交付金を最大限に活用し、継続してまいります。皆様のご理解とご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。